

## 伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、湾中央部から湾奥部にかけて 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が確認されました。

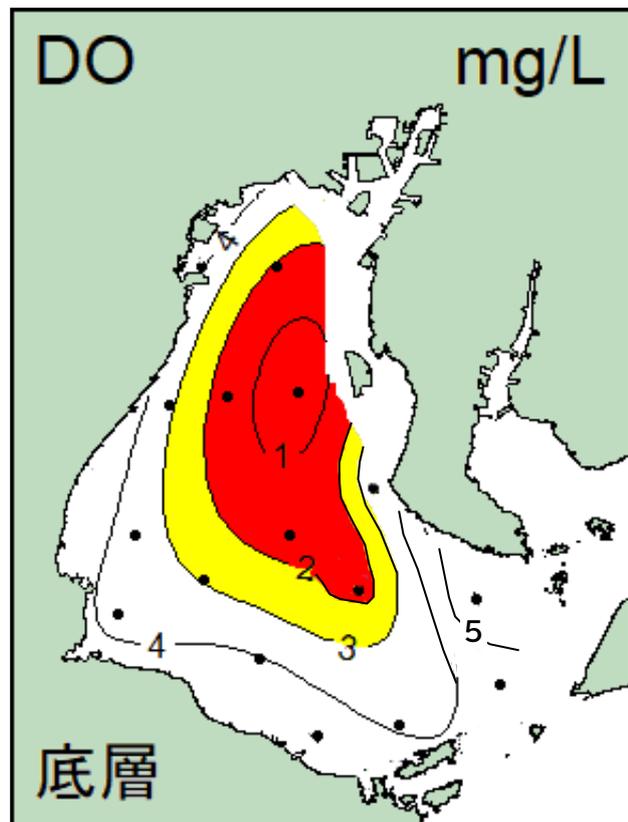
### 6 月 1 9 日の調査結果

6 月 1 9 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 22.5～25.0℃、10m で 18.8～22.9℃、底層で 16.7～20.4℃ の範囲にあり、表層及び 10m は平年よりかなり高め、底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.8～9.1 mg/L、10m で 3.5～6.9mg/L、底層で 0.2～5.2 mg/L の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m は平年並み、底層は平年よりやや低めとなっていました。

今後、海水温の上昇に伴って有機物の分解が進むと、貧酸素水塊の範囲がさらに広がる可能性があります。

今後の操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図